

令和3年度町政懇話会（松田地区） 結果報告

日時 令和3年11月6日（土）16時～

場所 生涯学習センター 展示ホール

参加者数：18名

町出席者

本山町長、田代副町長、参事兼まちづくり課長、政策推進課長、総務課長、
子育て健康課長、福祉課長

（事務局）政策推進課 鍵和田課長補佐、金谷、杉崎、渡邊、小林

1 開会

2 町長あいさつ

- ・ナラ枯れしている。山の保全と鳥獣被害への対策が必要。
- ・ヤマビルが松田地区にも出てきているため、今後、対策をしていく必要がある。
- ・パークゴルフ場が18ホールとなり、体協主催のパークゴルフ大会が行われた。元気な高齢者を増やし、コミュニティの場に繋げ、今後の財政運営にも繋げていきたい。
- ・コロナ対策については、おかげさまで、ここ最近の感染者は0人。皆さまも自己対策をしていただきながら、第6波に対する取組みをしていく。

3 意見交換

○質問

- ・駐車場や空き家、空き地が増えていることについて、それに対する計画が第6次総合計画に定められているか。

●定住少子化担当室長

- ・空き家対策に関しては、プロジェクトチームを設置し、町内全域で空き家対策を行っている。所有者の意見や方向性を確認して、活用に向けた取り組みを進めている。駐車場については、第6次総合計画に土地利用として示しており、1km圏内の民地、町有地の住宅地化に向けた取り組みを記載している。現在、所有者との調整を進めている状況。

○質問者

- ・人口が減っているのに空き地が増え、駐車場が増えている。人口増加などに関する方針が表に出てきていない。

●定住少子化担当室長

- ・町としては、人口増加策として強く掲げている。住宅を建てて人口を増やすためには受け皿が必要。同時に、魅力をどう発信していくのか、駅整備と含めて取り組んでいく。

○質問

- ・都市計画的なものなど、具体的な計画はないということか。

●まちづくり課長

- ・個別計画では、2年前に立地適正化計画を策定（県内の町では1番）しており、居住誘導区域を定め、そこに開発事業者を連れてくることとしている。公共施設についても定めており、中心市街地に集めるようにしている。町の外から来る方を中心市街地へ誘導する計画となっている。

○質問者

- ・町の動きがもう少し町民に見えるようにしてほしい。

●町長

- ・もっとわかりやすくなるよう工夫する。

○質問

- ・新松田開発に対して、どのような心づもり（心意気）でいるのか。開発自体は賛成だが、ガード下の拡張、チルドレンファースト、小学校までの道路拡幅について、県に対する動きが見えてこない。皆さんを煽って、進める。やらないと意味がない。
- ・小学校までの道路拡幅をやらないと新松田駅前開発は意味がない。もっと、県を動かすことが必要。

●町長

- ・やりたいのは、駅広場の整備だけではない。
- ・県道が拡幅され安全になったが、お店（魅力）がなくなった。南口についても、クマクラ花屋さんが出ていった。使う人だけ便利になって、それ以上に人が集まらない広場になってしまう。子供たちが一番欲しい施設を駅の周りに集約した方が便利であるという一つの構想。それによって、人口増加・定住化につながると思う。
- ・教育や駅前整備、スポーツ、文化などに繋がるため、大きな旗としてチルドレンファーストを掲げた。
- ・ガード下については、誰が町長でもやらなくてはならない。やってくれる町長をみんなで選ぶことが必要。
- ・早くやれというのは重々承知している。説明不足、情報共有不足があったかもしれないが、ようやく同じテーブルについていただいている。一番大切なことは、準備組合を設立すること。県において、約2,000万円の予算で、ガード

下の拡幅に係る調査をしていただく。

- ・ 駅周辺については、絶対にやると考えており、その感覚は部下にも繋がる。気持ちだけではなく、見えている課題を一つずつ削っていく。

○質問

- ・ (パワーポイント資料P3) 大学生くらいから40代の世代がすごく少ない。世の中を全体的に考えないと、若い世代はなかなか来ない。駅前や新モビリティなどの事業を含めた中で、若い世代に活躍していただき、これからの松田町を担っていただくような街づくりをしてほしい。

●町長

- ・ 預かる場所や住む場所を確保することが必要。町屋で40区画の話があり、新モビリティなど含め、駅周辺が開発されることにより、駐車場が建物に変わっていくと考える。
- ・ 店屋場と町屋はアパートが多いため、テレワーク等の普及により、減少しているのではないかと考える。
- ・ 亡くなる方は約150人、生まれるのは約60人、その差の90人を移住で埋めるための取組みを総合計画に記載している。

○質問

- ・ 買い物の不便さも解消する必要はある。
- ・ 議員も松田のために動いてほしい。

○質問

- ・ SDGs 未来都市やゼロカーボンシティなどを先進的なことに取り組んでいる。先進的なものに敏感な方々にもっとPRしてはいかがか。

●町長

- ・ 寺子屋では、SDGs をテーマに講座を行っている。このような取組みが、各団体との連携など、積極的に取り組みたい。

●政策推進課長

- ・ 町の取組みを一人一人にわかりやすくPRすることが必要と考える。町の将来像を実現するために、積極的に発信していきたい。

○質問

- ・ 山林に対する政策が遅れているため、SDGs 未来都市に関連して、「何とかしよう！」と松田が発信してはどうか。

●町長

- ・ 台風19号などの災害が目の前で起きたときに、山を保全しないと人の命を守れな

いと実感した。

- ・ 予算の範囲内で手を入れていただいている。森林環境譲与税も人口割が導入され、横浜などに多く配分されている状況。
- ・ やせた山だと保水力も弱いため、水害も予測される。県に対しては、毎年、森林整備の実施や水源環境保全税の延長について要望しており、近隣市町も賛同している。
- ・ SDGs は、山を守るためには非常に大切な取組みでもある。山を守らないと海も守れない。松田がやろうとしていることをモデルとして補助金をもらって実施し、他の市町も追随していただけるような事業を進めたい。今後に期待する。

4 町政報告

※パワーポイント資料に基づき、町長より説明。

5 その他

6 閉会（副町長）

- ・ 皆さまから頂いた意見や提案を参考にしながら、期限・目標を定め、わかりやすく報告しながらまちづくりを進めていく。